

いの流水俳壇

「当季雑詠」

特選

桜芽木待つっていたぞと撫でてやる

岡村 嘉夫

〔評〕 全国に先がけて咲く高知の「ソメイヨシノ」。揚句は花ではなく、開花前になる花芽。春になると、誰もが心待ちにするのが桜の開花。桜は日本の国花であり、「ソメイヨシノ」の開花前線は、列島を北上する。作者は散策の途中、春とは言え、まだ余寒の残る桜木を見上げた。その枝々には確かな花芽。思わず駆け寄り幹に纏り、中七「待つていたぞ」と言葉をかけ、下五「撫でてやる」で、幹をやさしく摩つた。まるで久々に我が子に会った時を思わす。その嬉しさを自身の行動で表現した新しい作品。作者の親愛の情が切々と伝わり、待たれる桜の開花である。

文旦のたしかな重さ掌

東谷 晴男

〔評〕 文旦はザボンの一品種として栽培されている。また、同種のものに「ウチムラサキ」「ハツサク」「グレープフルーツ」等がある。一月下旬から二月頃に当地では、土佐文旦として店頭で黄色で丸々と太り、月よりは少し小さい姿でお目見えし、出店すると店全体がぱつと明るくなり活気づく。下五「掌」とは手の平のことである。上五、中七「文旦のたしかな重さ」、文旦は一つでも、手の平をはみ出す大きさを、手に載せるとずっしりとした重量感が伝わる事を表す。文旦は作者の好物であろう。いくつかの文旦を手の平にのせた。その確かな重さを的確な感性で把握し、率直に表現した。

風若し日差しも若し下萌ゆる

津田 久美

〔評〕 季語「下萌ゆる」は、草の芽が土に萌え出ること、冬枯れの地のそこから、野にも庭にも道の傍ら、垣根の間など思わぬところから萌え出た草の事である。「風若し日差しも若し」で「若し」を繰り返すことをリフレイン、また畳句、ルフランとも言う。「風若し」は、春になって間もない暖かい風の「東風」を表し、「日差しも若し」で、輝かしい春の陽光が、元氣と活気のある青年期の様だと表出。「下萌ゆる」の季語と響き合い、生き生きとした若さが際立ち、若き日への郷愁をも重ねた一句。

入選

平凡に老いし夫婦や木彫り雛
帆のように吹かれていたる春コート
雪割の桜ほんのり里を染め
参道の人混んでおり梅日和
石垣を積む谷川の水温む
春の風邪あなどり遊ぶ老女かな
潮風に濡れて紅濃き岬椿

二句抄

デイの日や母折り紙の雛飾り
出番無く箱に眠りし雛かな
添水鳴るとどのつまりの梅日和
溪水のその高ぶりに開く梅
下萌や久し椿の話など
落の臺主菜に並ぶ夕餉かな
洗濯物あたふたしまう春一番
ふきのとう見つめる先の青天井
老いてなほ先を思いて木の実植う
持ち山の蕨殻焚く二月かな
闇の夜に絶叫走る猫の恋
そこここに群がり出でし落の臺
来て見れば花菜明りの山の畑
日溜りに盛り過ぎたる落の臺
春立つ日二階暮らしを卒業す
亀じらし遊ぶ水辺や水温む
爛酒や日暮れ間近かの春障子
潮溜り春の三日月の隠れなし
身ほとりの明るくなりぬ春立つ日
恋の猫素知らぬ顔で走りけり
見えていて遠し余寒の回り道
小さき子の膝を揃えて雛の前

- | | | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 大川 節弥 | 島村かりん | 渡邊ゆかり | 川村 博子 | 川村 博子 | 大川 節弥 | 島村かりん | 渡邊ゆかり | 川村 博子 | 川村 博子 |
| 津田 久美 | 東谷 晴男 | 津田 久美 | 劉谷 志津 | 劉谷 志津 | 津田 久美 | 東谷 晴男 | 津田 久美 | 劉谷 志津 | 劉谷 志津 |

次題「当季雑詠」

締切/毎月1日

投句先 教育委員会事務局

いの町1700-1

893-1922

平成30年度こども川柳 年間優秀作品

最優秀

しぜんはね ころをいやす たからもの

枝川小 3年 濱田 夢芽

〔評〕 低学年の感性としては完成度の高い作品。話しかけるような「しぜんはね」に表現されて、子供の自然をいたわる優しい気持ち伝わってくる。

優秀

冬の空 空気がすんで 夢見える

伊野小 5年 永野 朋美

〔評〕 澄んだ青い空を画布にして大きな夢を描いて見えると表現している。

仁淀川 秋の葉のせて 流れゆく

川内小 6年 市川 あい

〔評〕 仁淀ブルーの川面を色とりどりの葉が季節を惜しむかに流れ絵を見る光景。

入選

えんそくだ てんきよほうと ならめっこ

伊野小 4年 宮崎 礼奈

ともだちと なかよになる かぎをもつ

枝川小 3年 今橋 美紅

ジャングルジム 登るとジェットき 近くなる

長沢小 1年 松本 侑真

6年生 無言でそうじ ステキだな

枝川小 4年 森本 実来

学校は ユメの世界だ 楽しいよ

伊野小 4年 森岡日菜里

水あそび シャワーで空に 虹かかる

川内小 6年 金子 夕夏

クラス変え ドキドキワクワク 楽しみだ

伊野小 6年 藤並 萌

夏が来た ついにきたきた 海開き

伊野小 5年 谷脇 悠真

〔こども川柳〕は町内全小学校の児童の皆さんを対象に募集しています。平成31年度初回提出締め切りは5月15日(水)です。皆さんからたくさん応募をお待ちしています。(応募は各小学校を通じてお願いします。)